

投稿の手引き

1. 原稿はワードプロセッサを原則とし、1頁あたり20行、1行あたり25字とし、右側に6cm程度の余白をとり、行間を紙面全体にわたるようによくあけ、A4版用紙に印字する。手書きの場合は、A4版400字詰原稿用紙を用いる。アブストラクト等の英文はワードプロセッサまたはタイプライタを用い、ダブルスペースで印字する。
2. 原稿には、表題として第1頁に、和文題目、漢字著者名、英文題目、ローマ字（略さずに）著者名をこの順に書き、脚注として所属官署を和文と英文で書く。つづいて、英文アブストラクト、同和訳、和文本文、文献、図・表・写真の説明、同和訳をこの順に項目毎に用紙を別にして記す。ただし、報文、雑報は英文の所属官署とアブストラクトは省き、図表等の説明は和文のみでよい。文献はそれがなくなると省くことができる。
3. 英文アブストラクトは、目的、仮定、方法、結論等を明確に書き、本文の数式、図等は引用しない。
4. 本文
 - 4.1 節の切れ目は1行あける。
 - 4.2 節の見出しはゴシックとし、各節の本文は新しい行から1文字あけて書き始める。文の切れ目で行を変えるときも1文字あける。
 - 4.3 句読点には、、（ピリオド）、、（コンマ）を使用し、、 は用いない。
 - 4.4 人名、地名の読みにくいものには振り仮名を付ける。
 - 4.5 まぎれやすいアラビア数字、ギリシャ文字、ローマ文字、ベクトル記号等には、片仮名でフリガナ（朱書）を付け、大文字、小文字の別を示す。添え字は判別できるようにはっきり書くか、校正記号（朱書）を付ける。
 - 4.6 数式、特に本文中の数式はなるべく行間が1行以上にならないようにする。
 - 4.7 単位は原則として国際単位系（SI）を使用する。
 - 4.8 暦年は原則として西暦を用いる。また、人名の敬称は原則として省略する。
5. 図・表・写真
 - 5.1 図等の表題・説明は、論文の場合は原則として英文で、その他の場合は和文で書く。図等に直接書かず、別紙に番号順にまとめて列記する。英文の場合は和訳を添付する。図表中の文字、記号はもれなく説明する。また、必要な単位は必ず付ける。
 - 5.2 図等の挿入箇所を本文の右スペースに朱書する。
 - 5.3 図等には、第1図、Fig.1、表1、Table1のように通し番号を付け、隅に著者名を記しておく。
 - 5.4 製版後は図の修正は不可能なので注意すること。刷上がり寸法または縮率を記入する。ただし、縮率は編集の都合により変えることがある。
6. 参考文献
参考文献は、本文の末尾に原則として次の形式に従って列記する。並べる順序は和文を先にして50音順、続いて欧文をアルファベット順に並べる。
雑誌 著者名(西暦年)：表題、雑誌名、巻数、号数(原則として省略)、ページーページ。
単行本 著者名(西暦年)：書名、第何版、発行所、総ページ数(または引用ページ)。
(例)
安藤邦彦(1992)：表面現象から見た近年の伊豆大島の火山活動の期間とその特徴、*駿震時報*、**55**, 139-156。
宇津徳治(1985)：*地震学*、第2版、共立出版、310pp。
HULL, A. G. and C. NICHOLSON(1992)：Seismotectonics of the Northern Elsinore Fault Zone, Southern California, *Bull. Seism. Soc. Am.*, **82**, 800-818。

平成13年3月30日発行

編集兼発行人

気 象 庁

東京都千代田区大手町1丁目3-4

印刷所

株式会社 双 文 社

東京都文京区後楽2-20-8

Quarterly Journal of Seismology

Vol. 64 Nos. 1 ~ 4 March 2001

Contents

PAPER

- Characteristics of Anomalous Changes Observed with Volumetric
Strainmeters in the Tokai Region
..... Jun TAKENAKA, Noriaki MIYAKOSHI and Akio YOSHIDA 1

REPORTS

- Outline of the Sanriku-haruka-oki Earthquake, 1994
..... Seismological and Volcanological Division,
Sapporo District Meteorological Observatory,
Sendai District Meteorological Observatory,
Tokyo District Meteorological Observatory

- Crustal Deformation Measured by Theodolite after the First Eruptions
in the North-western Part of Usu Volcano in 2000
..... Akimichi TAKAGI, Yuichi NISHIMURA Jun' ichi MIYAMURA

Published
by
The Japan Meteorological Agency
c/o Seismological and Volcanological Department, JMA
1-3-4 Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8122,